

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知文化服装専門学校
設置者名	長崎 満

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
家政専門課程	服装学科	夜・通信	700 単位時間	160 単位時間	
	技術専攻科	夜・通信	700 単位時間	80 単位時間	
家政専門課程	服装学科	夜・通信	480 単位時間	90 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校の職員室で閲覧可能。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	高知文化服装専門学校
設置者名	長崎 満

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	2020年4月1日までに規定の整備を行う。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考) 2020年4月1日までに複数の外部人材を選任する。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知文化服装専門学校
設置者名	長崎 満

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム自体は毎年決まっているが、次年度用に修正した上で4月に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校の職員室で閲覧可能。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記テストや実技テストにより習熟度をはかる。(60点未満は再テスト)シラバスに評価基準を書いているのでそれを基に成績評価をしている。 ・卒業時には卒業制作とレポートを書いて提出。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>2020 年度より実施致します。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学校の職員室にて閲覧可能。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○卒業の認定に関する方針の具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての科目においてカリキュラムが提出されている事。 ・出席日数が全授業時間の 2/3 以上である事。 <p>○卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ卒業を認定している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校の職員室にて閲覧可能。</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： ） （概要）
卒業の認定に関する方針（公表方法： ） （概要）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ） （概要）
入学者の受入れに関する方針（公表方法： ） （概要）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
—	—	人	人	人	人	人	人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
—		—					人
—		—					人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
	人	人	%	人	人	%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

学部名	学科名	卒業に必要なとなる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要)
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知文化服装専門学校
設置者名	長崎 満

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校の職員室で閲覧可能。
収支計算書又は損益計算書	学校の職員室で閲覧可能。
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾		家政専門	服装学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,000 単位時間	360 単位時間	単位時間	1640 単位時間	単位時間	単位時間
			2000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		10人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・一つのカリキュラムを製作するごとに講義を行い、実習は個人で行う。期限内の提出を目指す。年間の授業計画は別紙の通り。
成績評価の基準・方法
（概要） ・筆記テストや実技テストにより習熟度をはかる。（60点未満は再テスト） ・5段階、優・美 ⁺ ・美 [○] ・美・良で成績を判定。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・全ての科目においてカリキュラムが提出されている事。 ・出席日数が全授業時間の2/3以上である事。
学修支援等
（概要） 必要があれば補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 着物や和雑貨の販売			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッションビジネス能力検定試験、ファッション販売能力検定試験、 ファッション色彩能力検定試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	1人	9%
(中途退学の主な理由) ご家庭での金銭的な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 授業料の分割、気になる学生への声かけ		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
服装学科	200,000 円	480,000 円	120,000 円	「その他」は年間雑費
技術専攻科	200,000 円	480,000 円	120,000 円	「その他」は年間雑費
服装学科 (夜間)	70,000 円	240,000 円	40,000 円	「その他」は年間雑費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校の職員室で閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・評価項目・・・教育課程、進路指導など ・評価委員・・・2名、学校関係者 ・評価結果の活用方法・・・年度末に実施し学校長を中心に改善策を話し合い、新年度から活用。		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 2020年度から実施致します。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kochi-bunka.jp/
--

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
服飾		家政専門	技術専攻科			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	1,000 単位時間	180 単位時間		820 単位時間	
				1,000 単位時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人		3人	0人	2人	4人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・一つのカリキュラムを製作することに講義を行い、実習は個人で行う。期限内の提出を目指す。年間の授業計画は別紙の通り。
成績評価の基準・方法
（概要） ・筆記テストや実技テストにより習熟度をはかる。（60点未満は再テスト） ・5段階、優・美 ^上 ・美 ^中 ・美 ^下 ・良で成績を判定。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・全ての科目においてカリキュラムが提出されている事。 ・出席日数が全授業時間の2/3以上である事。
学修支援等
（概要） 必要があれば補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	1人 (50%)	1人 (50%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 洋服のお直し			
（就職指導内容） ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の指導			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定試験、ファッション販売能力検定試験、 ファッション色彩能力検定試験
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 授業料の分割、気になる学生への声かけ		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
服飾		家政専門	服装学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	夜		講義	演習	実習	実験
2年		960 単位時間	80 単位時間		880 単位時間	
			単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		5人	0人	2人	0人	2人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・一つのカリキュラムを製作するごとに講義を行い、実習は個人で行う。期限内の提出を目指す。年間の授業計画は別紙の通り。
成績評価の基準・方法
（概要） ・実技テストにより習熟度をはかる。（60点未満は再テスト） ・5段階、優・美 ⁺ ・美 [○] ・美・良で成績を判定。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・全ての科目においてカリキュラムが提出されている事。 ・出席日数が全授業時間の2/3以上である事。
学修支援等
（概要） 必要があれば補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） ブライダル関係			
（就職指導内容） ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定試験、ファッション販売能力検定試験、 ファッション色彩能力検定試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 授業料の分割、気になる学生への声かけ		